

～海外派遣研修を通して心に残ったこと～

七飯高校 2年 池畑 星里菜

私は、この海外派遣研修で色々なものを得たと思います。

アメリカに行く前の日まで、まだ私は「アメリカに行く」という実感がありませんでした。初めてのホームステイ。とても不安でした。言葉がちゃんと通じるか、ホストファミリーとうまくやっていけるか心配ばかりでした。

アメリカに着くまでの間、飛行機の中で家から持ってきた、アメリカでの食事のマナーなどが詳しく書いてある本を見て、勉強をしていました。日本と違う所がやっぱりあって、実際にアメリカで食事をする時、本を見ていて良かったなと思ったことを覚えています。その他に、iPODで音楽を聴いたり映画をみたり等、ほとんどは寝



ホストファミリーと一緒に

て過ごしましたが、そのせいか、13時間という長い時間はあっという間でした。映画も、最新作の「パイレーツ・オブ・カリビアン」の「生命の泉」を見ることができて、とてもうれしかったです。他にも、「タイタニック」、「インディージョーンズ」等もありました。

長い時間をかけてやっとアメリカに着き、コンコードカーライル高校に向かうバスの中では、期待と不安でいっぱいでした。そして、カーライル高校に着いてバスから降りた時、みんなテンション高くて笑顔で歓迎され、とてもうれしかったです。

緊張したホストファミリーとの対面。友達や先輩たちが、目の前でホストファミリーとハグしているのを見て、さらに緊張が増しました。けれど、自分の名前が呼ばれて前に出た時、ホストマザーのディーノさんとホストシスターのアメリアが出てきてくれました。とても明るい方々で、今までのホームステイの心配や不安が無くなったことを覚えています。

それからみんなと別れた後、車に乗って家に向かいました。きっと大きい家なんだろうなと思っていたのが当たり、実際に見てその大きさに驚きました。車は4台あり、家は2階プラス地下1階で、とても広い敷地でした。まず、家の中に入るとホストファザーのステイーヴさん、ホストグランドマザーのクララさん、ペットの犬のフィッツィーが出迎えてくれました。「この家に来てくれてありがとう！」と、

言ってくれてとてもうれしかったです。フィッツィーは、人なつっこくて、すぐに私になついてきてくれました。フィッツィーは、家族にも大切にされていました。

私が借りた部屋は、地下のワンフロアすべて使わせていただいたので、とても広かったです。もちろん、バスルームもついていました。お風呂の習慣がないので、シャワーだけでした。カーテンを中に入れて入らないと、トイレまで水浸し、という大変なことになるので毎日注意して使いました。テレビも大きく、ベッドもふかふかでした。

日本からのおみやげに、函館の事が書かれてある情報雑誌や、七飯中学校、七飯高校、そして七飯町の写真の裏に付箋を貼って、その場所の名前を英語で書いたものや、風呂敷、日本のお菓子や折り紙などを渡しました。ディーノさんは、ポッキーが好きだったみたいでそのお菓子を渡した時は、喜んでもらえて良かったです。写真をクララさんに見せると、「緑が多く、美しい町だね」と言われ、そして七飯町から撮った函館山の写真を見せるとすごく喜んでもらったので、良かったなと思いました。



ホームステイした家

はじめは、言葉が違う国でホームステイができて、コミュニケーションがとれるか、とても不安だったけど毎日が楽しかったし、聞き取りやすいようにゆっくり話してくれたり、朝起きる時間を紙に書いて説明してくれて、とても助かりました。その事を通して、もっと英語を勉強して英語を上手く話せるようになりたいし、もっともっとコミュニケーションをとれるようになりたいと心から思えました。もっと細かく説明したいのに説明できない、それが一番悔しかったです。

この研修を通して、日本とアメリカの違いがよく分かったし、何よりまたホームステイしたいし、コンコード町に行きたいと思えました。また行く機会があれば、英語をもっと上達してコミュニケーションを取れるようにしたいです。

たくさんの方々の支えてくださったお陰で、今回このような貴重な体験をすることができました。今回のことを将来に生かして、自信につなげたいです。

本当に、ありがとうございました。